

事前評価チェックシート

計画の名称： 北東北の豊かな地域資源を活かした広域観光活性化計画（重点③）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>

社会资本総合整備計画　　社会资本整備総合交付金

令和08年02月06日

計画の名称	北東北の豊かな地域資源を活かした広域観光活性化計画（重点③）										重点配分対象の該当	<input checked="" type="radio"/>
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）											
交付対象	秋田県											
計画の目標	青森県と秋田県と岩手県は、三陸ジオパークや白神山地など、県境に跨る観光資源が多く存在するエリアで、自然・歴史・文化的に多くの共有性を有している。3県で設立した北東北三県観光立県推進協議会では、行政と民間が連携して取り組むべき観光施策をまとめたアクションプランを策定しており、「歴史的・文化的価値を有する拠点」や「自然や食といった魅力をもつ拠点」など複数の拠点を巡り、体験してもらう周遊観光の促進を進めている。本計画は、東北圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「第7節「四季の魅力溢れる東北圏」を体験できる滞在交流型観光圏の創出プロジェクト」を推進するため、地域資源を活かした体験型・滞在型観光等の推進及び観光資源の磨き上げによる誘客の促進と併せて、3県が連携して拠点施設間の基盤整備事業を実施することで、北東北地域の更なる観光活性化を目指す											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	579	A	579	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
1	【青森県・秋田県・岩手県 共通目標】 青森県・秋田県・岩手県（計画区域内）における三県平均観光消費額1,681億円（R5）から2,013億円（R12）に増加（332億円（20%）の増加）			
	【青森県・秋田県・岩手県 共通目標】 観光消費額 (観光消費額の増加割合) = (評価時点の年間観光消費額 - R5の年間観光消費額) / (R5の年間観光消費額)	1681億円	億円	2013億円
2	【秋田県 単独目標】 秋田県における観光消費額1,173億円（R5）から1,466億円（R12）に増加（293億円（25%）の増加）	1173億円	億円	1466億円
	【秋田県 単独目標】 観光消費額 (観光消費額の増加割合) = (評価時点の年間観光消費額 - R5の年間観光消費額) / (R5の年間観光消費額)			
3	【秋田県 単独目標】 拠点施設間のアクセス機能強化が図られることに伴い、拠点間のアクセス時間8,935時間・台／日（R5）から8,897時間・台／日分（R12）に短縮（38時間・台／日（0.4%）の短縮）	8935時間・台／日	時間・台／日	8897時間・台／日
	【秋田県 単独目標】 拠点間のアクセス時間 (アクセス時間の短縮割合) = (評価時点のアクセス時間 - R5のアクセス時間) / (R5のアクセス時間) ※修繕事業は除く			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画定状況
		一体的に実施することにより期待される効果											R08	R09	R10	R11	R12		
		備考																	
広域活性化事業	A11-001	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	国道	改築	(国) 103号 上日暮工区	現道拡幅 L=0.7km	鹿角市	■	■	■	■	■	190	—	
	A11-002	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	国道	改築	(国) 101号 大口工区	現道拡幅 L=0.7km	三種町	■	■	■			120	—	
	A11-003	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府県道	改築	(主) 男鹿八竜線 大潟工区	現道拡幅 L=2.2km	大潟村	■	■	■			199	—	
	A11-004	道路	一般	秋田県	直接	秋田県	都道府県道	修繕	(主) 男鹿八竜線 方口工区	防雪柵更新・新設 L=0.3km	大潟村		■				70	—	
											小計						579		
											合計								